令和６年度　第１回　浦臼町総合教育会議会議録

招集期日		令和 6 年 12 月 17 日	場所	行政センター　委員会室
開閉の時間		午後 2 時 54 分　開会　・　午後 3 時 55 分　閉会		
委員の出席状況	出席委員	平松職務代理、島委員、大石委員、美濃委員		
	欠席委員			
町長の出席状況		川畑町長		
教育長の出席状況		河本教育長		
職員の出席状況		石原副町長、横井事務局長、小田事務局主幹、熊谷学務係長、西川学務係主査		

横井事務局長	時間前なんですが皆さんおそろいですので、令和６年度第１回浦臼町総合教育会議を開催させていただきたいと思います。 会の開催にあたりまして、町長、ご挨拶をよろしくお願いします。
川畑町長	皆さんご苦労さまでございます。今来るときもすごい雪でした。高速道路も止まってるという話も聞こえておりますし、ここ数日大変な影響なんですけれど、浦臼では１メートル 60 センチぐらいの雪が今のところ降っているそうです。積雪は 67 センチということですけれど、全国ニュースにもなりました岩見沢は２メートル 28 センチの降雪、積雪が１メートル 14 センチということで、かなり浦臼より多めの雪が降っているということで、ここ数年、年前前に大量の雪が降って、年明けには少し収まるというような振り方が最近の通例になってきておりますけれども、今年はどうなるかわかりませんけれど本当にこのままの状態が冬中続くということも、考えられないわけではないんでしょうけれど、そのような事態はぜひ避けたいと思っているところでございます。 今年１年をちょっと振り返りますと、５月２日に多世代交流施設えみるという施設をオープンさせていただきました。こども園の園児たちが全員来ていただいて、歌を歌っていただくというような、小さなお子さんから高齢者の方までという目的に沿ったような形でオープニングを迎えたところでございます。 それから７ヶ月ほど経つわけですけれど、今月の集計取れていませんけれど、11 月末の段階で 9700 人ぐらいの方がご利用いただいておりましたので、12 月中には１万人を超える方にご利用いただいたということになっていると思います。小さなお子さんから高齢者の方まで、様々な使い方をしていただきまして、こども園の先生、或いは小学校の校長先生からも、いい施設を作っていただいたということで、ご利用をいただいているところでございます。冬場に入りましてさすがに利用は低調になってくるわけですけれど、年間少しでも皆さんに利用していただけるような施設に向けて今後とも取り組んで参りたいと思っているところです。 それでは今日は何点か議題の方用意させていただきましたけれど、この中の１つに義務教育学校について、当然まだこれからということで、ただただ皆さんとご意見を交わしたいということで議題とさせていただいておりますし、もっと差し迫ったところで言

	えば部活の地域移行ということで、そう遠くない先に土日祝日につきましては、何らかの対策をとっていかなければならないということで、このあたりも大きな課題となっているところです。もう１つ、北九州市の方で一昨日ですか、通り魔と言っていいのか、何とも言えないですけれど店にいきなり入ってきて、刺して出ていくというようなですね、本当に考えられないような事件が起きているところでございます。本当に子供の安心安全という意味ではどうしようももないというようなのが皆さん感じているところかもしれませんけれど、そういう時代でもあるというのもお話をさせていただいたところです。 　様々な課題もありますけれど、皆さん方からも活発なご意見いただいた中でまた、今後の浦臼町の教育行政を進めさせていただきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。
横井事務局長	ありがとうございます。引き続きまして教育長よりご挨拶をお願いいたします。
河本教育長	本年も残すところあとわずかとなりましたが、４月の年度当初から小中学校ともに、運営は順調に推移しており、小学校では病気休暇及び休職中であった職員も復職し、中学校では４月の人事異動で８人の転入者を迎えましたが、今は落ち着いていると感じられます。また社会教育関連では、プールの漏水によりオープンが遅れましたが、原因が特定され、夏休み前に再開できたところでございます。 町長にはＡＬＴの通年配置、また町費による教職員の加配など、ご理解と財政措置を講じていただき、また、今年度につきましては、小中学校に電子黒板導入経費を予算計上いただき、お礼を申し上げるところでございます。 　本日は町長と教育委員会との意見交換をさせていただき、相互理解を図りながらともに教育行政を進めたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。本日の教育委員会からの提出議案につきましては、浦臼町教育委員会の事務の点検及び報告書について、今後の教育施策について、また町長からの義務教育学校についての３点について、町長との意見交換をしていただき、その結果を踏まえて準備を進めて参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
横井事務局長	ありがとうございます。 　ここからの議事につきましては、町長の方にお願いしたいと思います。
川畑町長	それでは議題に沿いまして進めさせていただきたいと思います。 　まず（１）浦臼町教育委員会の事務の点検及び評価結果報告についてということでの説明をお願いいたします。
河本教育長	それではこれにつきましては私の方から説明をさせていただきたいと思います。資料１をご覧いただきたいと思います。 （２）浦臼町の教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書につきましては、令和５年度の点検評価にあたり、地教行法 26 条第 2 項の規定により、学識経験者の知見の活用を図ることをされておりまして、８月 21 日に行っております。 　学識経験者の皆様からいただいたご意見につきましては、（２）から（６）までとなっておりまして、（１）につきましては農村センターの施設整備に関すること、（２）につきましては海洋センタープールの利用期間に関するご意見、（３）につきまして

	は、海洋センターの農村センター、運動公園の環境整備に関するご意見、（４）につきましては、複式学級編制解消の継続に関するご意見、（５）につきましては、登下校時以外の自転車に乗る際のヘルメット着用の指導に関するご意見、（６）につきましては、教職員の長時間労働を心配するようなご意見となっております。 　概要につきましては以上になっております。 直接、はい。 それじゃあれですよっていうご意見という伺うってことにはならないってことですね。
川畑町長	ヘルメットっていうのは、登下校は必ず。
河本教育長	登下校は義務化して、それ以外にも一応ヘルメットをかぶるようにという指導はしているんですけれど、たまたま懇談会に参加していただいた方が、家に帰った後、ヘルメットをかぶらないで乗っている子どもを見たということで、指導をしてくださいというような。
川畑町長	たまに見るとだいたいしているような気がするんだけど、してないときもある。 それでは次に進めさせていただきます。（２）今後の教育施策についてということで、まずは学校教育関係からお願いいたします。
熊谷係長	学務係から説明いたします。町単独加配教職員の配置についてです。平成 28 年８月から実施しておりまして今年度で９年目となります。現在の体制としましては、急な退職等もありまして、複式学級編制を回避するための教員１名、補助教員１名、計２名を小学校に配置しております。令和７年度も現在の２名の他、補助教員１名、特別支援補助員１名を配置したいと考えております。 　次に事務方の配置についてです。令和５年度より時間給パートタイムの事務補を小学校に１名、中学校に１名配置、教頭の業務補助を基本に教職員の事務的な補助について担っております。教職員の働き方改革の推進のため、令和７年度も引き続き配置したいと考えております。 　次に教職員の家賃補助についてです。令和３年度から実施しており町営民間住宅に管理職が４名入居しております。管理職だけではなく一般教職員にも家賃補助があれば、浦臼町に住んでもらえる可能性が高くなると考えられることから、引き続き補助を行っていきたいと考えております。 　次にＩＣＴ教育の推進についてです。デジタル教科書の継続導入。本年度は文科省のデジタル教科書実証事業により、小学校では英語、中学校では数学と英語の学習者用デジタル教科書が導入されております。さらに小学校では国語算数理科社会でもデジタル指導者用教科書を導入しており、令和７年度に教科書の改定を行う中学校におきましても、デジタル指導者用教科書の需要が高まっております。継続的なデジタル教科書の導入と他の業界の拡充を図りたいと考えております。 　小中学校へのＡＩドリルの新規導入です。小学校は令和３年度から中学校は令和５年度からデジタルドリルを導入し、授業や朝自習等で活用しておりましたが、個々に応じた振り返りや個別最適な学びを支援するためにＡＩドリルを新規に導入したいと考えております。ＡＩドリルを活用することで、子供の習熟度に応じた学習、学習

	ログ分析や、学習理解度の把握が可能となります。また、授業支援ツールが搭載されているＡＩドリルもあり、個別学習だけではなく、協働学習でも活用でき、児童生徒の多様な学びが実現できると考えております。 次に学習者用タブレット端末の更新についてです。令和２年度に整備しました学習用タブレット端末を令和７年度に更新、令和８年度から使用を開始予定をしております。小中学校に予備機を含め 111 台導入を予定しており、北海道の補助金を活用して更新を行いタブレット端末のさらなる利活用で GIGA スクール構想の推進に努めたいと考えております。 次ページになります。公務用パソコンの更新についてです。令和元年度に更新した小中学校の職員室で使用している校務用パソコンとファイルサーバーが更新時期となります。現在は校務用パソコンのネットワークが校内からアクセスできないようになっており、在宅勤務など教職員の働き方改革推進のため、学校外からもアクセスできるクラウド環境、校務用パソコンを整備したいと考えております。 次にスクールバスの更新についてです。平成７年度に購入した車両２台は令和６年度末で 30 年が経過。車検費用、定期点検費用を除いた修繕料が過去５年平均で 54 万 4,608 円と年々その費用は高額となってきております。特に冬期間の故障が多く、スクールバスの運行に支障が出ていることもあり、更新を行いたいと考えております。なお、児童生徒数の推移を勘案した車両を選択し、国のへき地児童生徒援助費補助金を活用して更新に係る費用を抑えたいと考えております。 次に、浦臼小学校開校 30 周年記念事業についてです。令和７年度に浦臼小学校が開校 30 周年を迎えることから、記念事業について令和７年度補助事業等要望計画書が小学校より提出されております。記念事業の一環として、教育環境整備のためグラウンドに遊具設置を行いたいと考えております。 次に部活動の地域移行についてです。今年度部活動地域移行検討協議会を設置し、今後の部活動のあり方について検討を進めます。アンケートの実施や近隣自治体の取り組みをサポートしながら暮らす町の部活動の現状や地域人材、保護者や生徒の意向を費用や課題等を踏まえた検討をしていきたいと考えております。 学務係につきましては以上です。
川畑町長	学務係の方から報告がありましたけれど、いま報告があった中身につきまして、何かご質問ですとか、ご意見等がありましたらお伺いしたいと思います。
大石委員	これから今の時代、パソコンとか特に必要になったり、使ってきてる時代なので、更新だとか、先生の校務、仕事の方をもっとやりやすくしているために今の内容を出しているんですか、なんとかご協力願えたらと思いながら。
川畑町長	ご協力というか、細かな中身はともかく日本中でやるということになっていますので、中身に多少差はあるのかもしれないですけど、どこの町もやることにはなるかと思います。後は入れるソフトだとか何とかというのが差が出てくるということでいいのかな。学校によって違うのか。機械的にはそんな差があるわけではない。 子供たちは持ち帰ってる、100%。それで宿題をやったり、自習というのをやったりをしている。

熊谷係長	100%まではいってはいないですけれども、特に中学校の方が持ち帰りして、小学校になると低学年が持ち帰らせるのにも重さとかもあるし、壊したりとかという可能性も。使い方について慎重になっている部分もあるかと思うんですけど。
横井局長	小学校の高学年はもうこの冬休みに持ち帰らせて、ＡＩドリルが入ってるところもありますので、それを使いながら、冬休みの課題をやらせる。その結果を見ながら低学年にも、こういうご時世ですので、壊れるのはしょうがないので、使わせないということよりは壊れてもいいからさわらせるというか、その辺なってくると思います。そこは先生方より早く慣れてしまうような現状ですので、本当に何かの事故で落としたりとかというのが先生方ちょっと怖いっていうだけで、今後はどんどん使っていくようになると。特にＡＩドリルをしっかり入れれば、基本的にはもうそれを使えば勉強できる、それが学校に来れば、内容が先生方もすぐ反映されてすぐわかるからという状況になります。今後どんどん使っていくと思います。
川畑町長	補助機、さっき 15%って書いてあったけれど、壊れたらそれを与えるっていうこと。
横井局長	それで回すという。
川畑町長	他にありませんか。
平松職務代理	先の協議会の中で色々考えていて、更新をしたら古いものがありますけれど、それを町民に、例えば子どもたちばかりではなくて少ない人口だから、町全体でデジタルに親しんでいけるような何か使い道はないのかなみたいなと、ちょっと考えてはいたんですけど。
川畑町長	古い機械を再利用というか。
平松職務代理	売ってしまってもたいした金額にはならないだろうし。使えますよね。
川畑町長	教育長、覚えているかな。昔更新したパソコン売っただか抽選だったか忘れたけど、町民に渡したというか、そんなことあったよね、過去に。 古いものがどうなるのか聞いていないけれど。
平松職務代理	タブレットが空きますよね、111 台だから。
横井局長	予備で取っとかないとならない。いま 111 台の中で 15%予備があるので、さらにそこをどこまで取っておくかっていうのは検討しますけれど。取っとかならない部分と、あとは財政と相談かなと思ったんですけど、売った方がいいのか。 買い取りなのでうちのものだというイメージではあります。基本的にただ捨てることはしないと思うので、ジャンクでもなんでも売れば良いというイメージはあるんですけど、前のパソコンのときもそうだったと思うんですけれど、データをきちっと消去しなきゃならないとかというところがあるので、そこが今タブレットの中にデータが残ってるとは思わないんですけど、どこまで綺麗にして出さなきゃならないのかという。 それが職員できるならやりますけどっていうとこもあります。そこは確認しないと、単にポンとお渡しするわけにはいかないのかなと思いますが。
河本教育長	そのデータ消去するのになんらかのお金がかかるのであれば、最低限それだけお金はまずかかる。

平松職務代理	例えばみどり学園で使ってもらうとか。学校として必要になるかもしれないから置いとくということなんだと思うけれども、なにか活用できることが、例えば町全体でデジタルを推進する方に進むのもありかなと思っています。考えはまとまっていませんが。 私たちも委員会で使っているわけですよね。これだけ使えるんだから、いざというときに、またコロナになってしまうかもしれないし、ただ閉まってしまうだけでも何か使った方が良いのかな。
横井局長	ぱっと思いつくのは、保健センターで何台か置いてもらってお年寄りが集まった時に、使い方の勉強会とかやるのに使ってもらうとか、あと Wi-Fi 繋がっていれば動画が見れるので、体操の時に動画見ながらやってもらうとかというのでは使えるのかなと思うので、そういう活用の仕方はあるのかなと。えみるに置いてもらっても、Wi-Fi あれば使えるので。 極端にダメになっているものが多いわけではないので、使っていただけるんだったらそれでいいのかもしれない。
川畑町長	いずれにしても、無駄にはしないような形で再検討してください。 他にはよろしいいですか。
島委員	GIGA スクール構想というのがあって、今回入れ替えの機会に合わせて考えているんですけれども、子どもたちに先進的な教育をさせるためにも町一丸となって環境を整えるということをお願いしたい。
美濃委員	皆さんが言われたとおりです。人数も少なくなってきている中で、やっぱりやりやすい。滝川市や砂川市だと生徒さんも多いので、初めての試みをするには浦臼町ははすごく少人数なので、いろんなことを先端をきっていけるとまたさらなる新しい視点も見えてくるというか。お金もかかることですけれども、人数が少ないので浦臼町、最初にタブレット入れた時もまだ他の市町村ではまだ全然、１台当たるか当たらないかという時にもう子供たちはしっかり慣れてという感じで、スタートも早かったので、そういう少人数だからメリットというのを感じていけたら良いのかなと思っています。
川畑町長	とりあえずこれまでの流れに沿ってまた進めていきます。 他はよろしいですかね。 それでは社会教育関係の説明を願います。
小田主幹	私の方から社会教育関係の説明をさしていただきたいと思います。 まず郷土史料館の展示についてということでございますけれども、令和５年度に元高知県坂本龍馬記念館学芸課長の前田氏にお越しいただいて、その時に指摘をいただきました坂本龍馬コーナーの温湿度の管理について、今現在、改修の工事を行っているところです。 工事実施にあたりまして、坂本龍馬の展示物を一部撤去をして現在えみるの方に保管をさしていただいているところでございます。撤去しておりますので令和７年度に再度前田氏に来ていただきまして、ご指導いただきながら史料館オープン前までに、坂本龍馬の方のコーナーのリニューアルを行っていきたいと考えてございます。 ２点目でございます社会教育等の施設整備についてですけれども、農村センター、海洋センターの施設の維持管理及び運営につきまして、経年に伴う大規模小規模的な

	補修や改修はこれまでも行ってきておりますけれども、今後におきましても緊急性の高い施工箇所が控えている施設でございます。施工には多大な費用も見込まれますので、計画性をもって各関係所管の課と協議、検討を進めたいと考えております。 海洋センターのプールに関しましては、令和５年度にはろ過機のポンプの方の故障がありまして、令和６年度につきましても水漏れが発生しております。水漏れに関しましては安価で簡易的な方法によりまして、水漏れを止めることができましたので、大規模改修まで引き続きこの方法にてプールの運営を継続していきたいと思っておりますけれども、海洋センターを含めまして今後につきましても経営に伴う故障等が増えてくることと思いますので、助成金等を活用しながら計画性を持って改修工事等の詳細について協議、検討を行っていきたいと考えております。以上でございます。
川畑町長	２件の説明が終わったところでございます。 私たちもプールが水漏れしてるという報告を受けまして、しばらく原因がわからなかったんですけれども、水がどんどん減ってくうちに一定のラインで止まったという、そこに原因があったということで、そこを簡易な形で塞いで再開できたということで、ほっとしたところでもありました。 根本的な改修というか本当にちゃんと止めることしかないんだね、これからやるとしても。今ははっつけているような。
小田主幹	その穴をコンクリートとかで埋めてしまえばというとこなんですけれど、１回剥がさなきゃいけませんので。全体のシートの張りかえのときに、実施するのが一番ベストかなと。現状でも穴は防げるんですけども。いずれにしても経費がかかるので、１回で終わらせたほうが、というような考えです。
川畑町長	たまたまだったんですけど、上砂川さんとか雨竜さんでもちょっとプールで問題が起きて。上砂川さんは屋根が雪か何かで落ちたというので、プールそのものではないのかもしれないですけれど、今年は営業をしなかったんですよね。雨竜さんも水回りというかポンプ系、障害があってやっていなかっということで、改めて見積もりを取って、数億円から数千万単位でお金がかかるということで、本当にどうしようかという、まだ結論が出てないんじゃないかな。ニュース等にもなりましたけどプールが持ちきれないというところが結構出てきて、今までの市営、町営から民間プールに移管するというようなところもあちこちで出てきてるような話ですけれども、何とかB&G さんのお力をいただいて設置したプールですので、なるべく息長く持たせるだけ持たせていきたいと考えておりますけど、プールがなければなかなか水に親しむ機会というのも子どもたちもないものですから、行けるところまでは行きたいと思っております。 意見でしたけど皆さんの方から何かございませんか。よろしいですか。 それでは（3）義務教育学校についてということで、これ、皆さん何か一定の共通認識みたいなのもある。
横井局長	今まで教育委員会でも話題に出てるところでありますので、何も知らないということではないというところであります。 私の方からメリットデメリットのところはお話しさせていただきたいなと思いますけれど、まずデメリットと一番大きい壁になるのはやはり建築費のところかなと思っております。現状、義務教育学校を進めている市町村につきましては、学校の老朽

	化がありまして建て替えに合わせて義務教育学校というのを検討していっているというのが現状ですが、本町の場合は、中学校はまだ新しいですし、小学校は昭和 56 年、57 年の築ですけども、見た目というか、それぞれ大規模改修しながら大事に使ってるというところもありまして、小学校の校舎も築年数にすると綺麗だというところもありますので、耐震も大丈夫ですから、その中でどのように検討していくかというところがまず本町に一番デメリットというのか壁になるのかなと思っております。 一般的にいうデメリット、もう１つは、学校統合していきますので、地域の住民の意見の形成といいますか、合意形成といいますか、その辺でいろいろと皆さん困っているというか、なので検討協議会云々というのが大体５、６年と皆さん検討委員会等をつくりながら検討しながら進んでいっているんですが、本町ではまず小学校が合併したという経緯も、鶴沼小学校晩生内小学校が浦臼で合併したとかということもありましてその辺、小学校と中学校が１つになるというところについては、さほど大きな抵抗感があるわけではないと考えております。 メリットにつきましては、建てる場所にもよりますが、認定こども園の近くに建てるということであれば、認定こども園との繋がりがさらに強化されるというところもありまして、こども園から小学校に入学するときのギャップというか、そういうのをして軽減されますし、いわゆる中１ギャップと言われる小学生から中学生になるときのことに関しても軽減されるというようなことがあるかと思います。 それと大きくは先生の数が大分変わってきます。人数が変わってきますので、そこは本町にとっても大分メリットはあると思います。子どもたちにとっては全校生徒の規模が大きくなりますので、運動会であったり、学芸会・学祭であったりというのが、それぞれ開催しやすくなるというか、人数が増えていくところのメリットが出てくるのかなと思っております。 一点、子供たちデメリットっていうのは、小学生から中学生になるときに卒業式というイベントとかあって、さらに中学生のときの入学式というのがあるんですが、それが１個イベント的になくなっていきますので、今で言う中学校３年生などまで最上級生になるということが１回しかないというところが、デメリットとして一般的には言われているところがあります。 ただ、学年の区分、今までは小学６年間、中学校３年間ということですが、義務教育学校になると９年間の割り振りは自由になるので、低学年、中学年、高学年という割り振りもイメージが変わってくると思っておりますし、先生方にとっては音楽の専科とか、小学校の方は中学校の専門の音楽の先生がいれば、小学校の先生が音楽を教えるという機会は減っていきますので、そういうところでは先生方のそれぞれの負担も減っていくのかなと思っております。 これが一般的に言われるメリットデメリットがあると思っています。以上です。
川畑町長	皆さん大体ご理解いただいてる部分かと思いますけれど、メリット、デメリットそれぞれになっているところです。デメリットの方は、１番はやっぱり建設費というところということも今言っておりましたけれど、空知でやっている所って歌志内市だけ。
河本教育長	今のところ歌志内だけ。来年が岩見沢氏の栗沢の小中。令和 8 年が砂川市と秩父別町、令和 9 年が長沼町と月形町。

川畑町長	新聞等にもよく出ますし、着々と進んでいるんですけれど、やはり建物の建て替え時期に合わせてというのが歌志内はそうではなかったかもしれないですけど、それ以外は。栗沢がよくわからないけど。
河本教育長	栗沢はとりあえず住民が義務教育学校を早くしろということで、現状の小学校を使うんだと思うんですね、多分。子供の数とか減っていますから空き教室をが多分。建築は来年から義務教育学校にするんですけれど、校舎の建築は令和 12 年に新築の予定だと思います。
川畑町長	もうどこもそういう形で進めてきてるところですけども、浦臼、今話ありましたけれど、中学校はまだ 10 年しか経っておりませんし、小学校の方も大規模改修しまして 10 年も経っていないような状況にありまして、それをすぐどうこうということにはなかなか難しいところではと考えております。 この先もですねどんどんその他の道内の市町村で、義務教育学校化というのが進んでいくことになろうかと思いますし、様々なメリットも見込まれてるところでありますので、この流れはきっと今後もかわらないのかなとおもっていますけれども、じゃあうちがいつここに向かって方向転換していくかというのが今後の大きな課題になってくるかと思います。 新聞に出てる限りのお話をいたしますと、月形町さんで、あそこは小学校中学校とも老朽化しておりますので、全く新しい施設を建て替えるということになりますけれども、新聞では 47 億円の経費がかかるということで、今始まったことではありませんけれども文科省の補助金というのは、見かけは 3 分の 2 ですけど、もらうときには３分の１、補助単価というか補助基準というのがありまして、それに面積を掛けて補助金額を出すというような仕組みになっておりまして、47 億もらっても、６億～７億ぐらいの補助金しかない。あとは過疎債でいけるんであれば、７割補填ということで、それほどでもないのかもしれないですけど、47 億となると町の持ち出しもそれなりにあるということで、月形さんは少し見直すということがこの前新聞に出ていました。 それ以外には北竜町さんの記事も出ておりましたけれど、あそこは資料館とか図書館とか、社会教育施設的なものも含めて義務教育学校として一体化させるというような記事が出ておりまして、学校だけではないんですけれど、それでも 50 億っていう金額が出ていました。学校という施設ですから、かなり大きなものにならざるをえないことを考えて、今の建設単価、労務単価、すべてが上がっている状況では今後多分安くなっていくということはなかなかちょっと考えにくいかなと考えております。 今 47 億、50 億といっているものが実際に建てるときには１割アップとか２割アップという話もよく聞く話でもありますので、本当に金額的なが大きなハードルになっている。私たち浦臼町が手をかけようとしたときも同じような問題が起きてくるのかなと感じてます。当然お金だけの問題ではないんですけれど、町の予算が 35 億とか 40 億の町ですから、それを超える金額になってくるのかなというと感じています。 いろいろな考え方でありますが本当に全く１から立て替えて設置するのか、どちらかの施設を生かして増築ということも可能なのかどうか。それはまだ調査しているわけではありませんので言えませんけれど、何らかの形で経費の削減を図りながらじゃないとちょっと進めづらいかなと気はしています。

大石委員	慌ててしなくても。でも私としてはメリット、そういう方向には向かっていきたいなと思うので、今すぐじゃなくても徐々に徐々に、小学校と中学校はすごく交流を持ちながら、小学校から中学校に上がるときにギャップみたいなものを少なくやっていますけれども、９年間を一括でやる方がスムーズにいくと思いますので、ゴールが結局、小学校の方のゴール、中学校のゴールじゃなくて、義務教育学校のゴールなのでやりやすくなっているかと思ので、将来的にはそっち側に向かった方が良いのかなと思いますね。
川畑町長	多分皆さん同じ考え方ではないかと思います。 仕組みがよくわかってないけれど、６年生３年生で分けてもいいし、３・３・３でもいいし、９でもいいみたいな言い方だけど、それは小学校の過程を卒業したとかそういうものではない、また別なもの。
河本教育長	それとはまた別で一応、前期課程、後期課程というのがあって、それは６、３なんですよ。それ以外での分けというか。 今は小学校授業 40 分で、中学校 50 分ですけれども、もっと早く 50 分にしてもいい。中学校は中間テストとか期末テストとかありますけども、それを小学校の 5、6 年から導入してもいいです。それで、４・３・２というのが１番多いみたい。昔より子どもの成長が早い。 比布町なんかは義務教育学校にしましたけれども、とりあえずやっちゃえと。既存の校舎がもう小中廊下で繋がってて、とりあえずやっちゃえということで、決めてから２年後に開校したというんですけども、これは６・３のままとりあえずやろうと。義務教育学校なんだけれども、小学校の運動会と中学校の体育大会は今まで通り別々にやろう。ということでとりあえずやっちゃった。 雨竜は義務教育学校ではないけれども、小中一貫校で廊下が繋がっているので、実際中学校の先生が高学年に教えたりというのはとてもやりやすいんですよね。繋がってますから。だからあまり義務教育学校というものにはこだわってないのかもしれないです。一貫校でやっているので。
川畑町長	よろしいですか。なかなかまだ言えないんですけど、焦る必要はないという考え方だとは思います。新しすぎて、次の別な形にするにしても中学校なんか新しいですから、無駄にするわけにもいかないと思いますし、そういう話も多分片付けないとなかなか前に進まないと思いますけれど、検討は続けさせていただきます。 （４）のその他はなにか。
横井局長	こちらは特にないんですが、学務係の方が予算規模が大きくなってしまうので、査定では色々とご迷惑はかけるかもしれませんが、よろしくお願いしますというところと、小学校の 30 周年記念事業のところで、これも周年事業の流れで、この予算をお願いしなきゃならないところなんですけれど、教育環境整備ということでグラウンドに遊具を設置 していきたいと考えておりますので、この遊具、基本的には子どもたちの希望が１番多いものということであげさせていただいていますので、無限に断らないでいただければなと思います。 一応、本当に設置のこと考えてジャングルジムとかどうかって話ですけど。なにせ子どもたちが滑り台がいいという要望が多い。

	あとは、すごい外暑いじゃないですか。昔の鉄板では滑るたびに火傷しちゃうので、昔よりはだいぶ高くなっていて、あと錆びないようにと思って、ものもまあまあ見てるので。 低学年の方はえみるでもあるので全然ですけれど、全員なんです。1年生から6年生まで1番最初に来るのが滑り台なので。アンケートをとったら必ず滑り台が。去年はエアコンだったんです、1位が。エアコン入ったらまた滑り台で戻りました。子どもたち現金なので。
川畑町長	エアコンはどのくらい使ったんだろうね。日数というか。
横井局長	大きく電気代に跳ね返ってきたというような感じではないのと、使い方、先生方、色々気を付けてくれてたので、そんなにつけっぱなしにしてるとかということもあんまりなかったようなので。ただ、かなり効果はあって。
川畑町長	ルール化して使っているの。入れる時は全員いっぺんにスイッチ入れるとか。
横井局長	マニュアルが一応あって、室内の温度が 28 度超えたりとか。だから、朝来て用務員のおじさんが全教室バーっとつけていくこととかがないように、一応教室の温度を見て、湿度見てそれを超えていたら入れてとか。なるべくエアコンを入れているときは戸を開けっぱなしにしないでねとかルール決めながらやっている。
川畑町長	今年は比較的30度超えはまあまあったけど､35度超えとかというのはあったかな。猛暑でもなかったかなと思っているので、また来年以降どうなるのかわからないので。 あとは地域移行の近隣の雰囲気というか。
横井局長	まず本町のというところからいきますと、明日、部活動の地域移行検討協議会の第1回目をやりますので、委員さん各位に現状を説明したいと思っておりますが、うちではまだアンケートぐらいしかやってません。それと2月に卓球の丹羽選手が来ていただきましたが、あれも一応地域移行の関係で地域住民の方に地域移行のことについてのＰＲということで呼んで、その中でもアンケート取ったりしているというのが、本町ではそこまでぐらいしかまだいってないです。 近隣の市町で一番進んでいるのは芦別市ですが、そこに行っても検討協議会を4回ぐらいやっているぐらいで、実際のところ、芦別の課長にお話を聞くと地域に受け皿がない、地域の方に聞いてもやってくれるよと言っているのが1個しかないとかというような感じで、地域の受け皿がないっていうのが現状かなと思っております。 5市5町の課長会議で話しているのは、やはり滝川・砂川に拠点というか、そういうのを作っていかなきゃならないんじゃないかという話をしているんですが、滝川も現状、地域でそれを担ってくれる場所がないというところもあって、続けていける部活、続けていけない部活の洗い出しを行っているというのが現状かなと思っています。 振興局で割り振られた浦臼、砂川、上砂川、奈井江みたいなひとグループで話し合ったときも、砂川市でやるのかどうだろうという話をしたようなんですが、基本的には地域の検討協議会云々通してきちんと話し合ってからそういう議論をしたいという話なんで、そこは当然そうかなと思っています。一応、何とか1回目の検討協議会

	を明日開いて皆さんの意見を聞きたいなと思っています。 　この会議始まる前に決裁で見たんですが、小中学校の保護者と生徒のアンケートの結果を見ますと、保護者の方たちは部活をやらせたいというのと、どちらかと言えばやらせたいというのが６割を超えてたので、保護者の人たちは中学校に行っても部活をさせたというイメージがやはりあるようで、子供たちはやれるものがあればというようなのかあれなんですけれども、地域移行についてどう考えますかというところではやっぱり移動です。 　合併されてどこかに行けとなったときも、移動手段がどうなるのかというのが一番多かったので、皆さん移動手段とかかる経費についてのところが、一番保護者にとっては関心のあることなのかなと。子供たちは周りの子の学校の人たちと仲良くなれるので、という意見もあったので、もし合併というか、地域移行が進んでも子供たちがそれでも対応できていくのかなと思うのですが。今のところそういう感じです。
川畑町長	この話、始まってから丸２年ぐらい経つのかな。そんな前から出ているんだよね。騒ぎ出したのがそんなに前じゃないような気がしているけれど。結局小さなところは自分の所でどうにかするなんてことは多分どこもできない。剣道ぐらいは何とかという話も聞くけれども、あれは昔から地域移行をしていたというか、別な感じがしますけども。それ以外は先生に抱っこでやってきたものが急激にというか、そんな感じで変わらざるを得ない状況にあります。 　どうしても砂川さんとか滝川さんに負担をかけざるをえないというところもあるけれど、それにしてもいきなりどっと来られてもそれも困るだろうし、これからの調整が難しいのかなと思います。。 　子ども達も部活をやりたいという意欲を持ってくれてるところはないかな。スマホがあれば何もいらないみたいな子供たちがあっても困るんだけど、そういう意欲でなんとか繋げていくような話にうまくいけばいいんだけど、まだ少し時間はかかるけど、来年度中に決めなきゃいけないというか、そんなに時間がないんだろうけど。
河本教育長	一応、目標としては令和８年度から休日の部活動については地域移行をすることを目指す。 　大きなところだと部活を辞めちゃえばそれでいいんですよ。あとは地域に預けて。神戸市が部活動やめた。地域移行するってどうするかというのが、部活をやめる。だからやりたい人は地域でやってと。 　大きな所でさえも部活動が成立しなくなる可能性があるので、こういうことをいいだしたんですけれど、浦臼みたいなところはもう何十年も前からもう機会が失われてますよね。
川畑町長	それだけ民間で活動がある。 　中体連ではこれからどうなってくるのかよくわからないけど。
河本教育長	スポーツでも上を目指している子どもは自分が通っている学校に部活があってもそこに入らずに別のもっと上にいけるチームに所属するとかあるので、そういうのもあるのですごい難しい。
川畑町長	明日、第１回、検討の機会が設けられるそうですけど、なかなか自分たちのとこだけで結論が出る話ではない、相手がいる話にもなってきますので、そちらに話を繋げ

	れるようなところまで準備しておかなければならないということですので、こちらは進めてくださいというか、お願いします。
横井局長	全体を通しまして何か質問というか、ご意見でも構いませんが、何かあればお願いいたします。特になければ、会を閉じさせていただきたいと思います。 今日はありがとうございました。閉会いたします。